

2004年11月24日

各 位

三井化学株式会社

## ルイパスツール大学(フランス)における三井化学シンポジウム開催について

当社(社長:中西宏幸)は、11月22日、フランス ストラスブールのルイパスツール大学(ULP: University Louis Pasteur)内にある超分子科学工学研究所(ISIS: Institut de Science et d'Ingenierie Supramoleculaires)において、「新しい機能を発現させる先端材料」をテーマとした、国際シンポジウムを開催致しました。このシンポジウムでは、国内外の先端材料の研究に携わる6名の研究者の講演と、13件のポスター発表が行われました。

当社は、昨年(2003年)3月、「三井化学第1回触媒科学国際シンポジウム」(MICS 2003)を開催しましたが、今回、同シンポジウムでの講演者であるノーベル賞受賞者 Jean-Marie Lehn 教授が統括されているISISでのシンポジウムの開催となりました。

当社は現在進めている中期経営計画において、事業構造の変革と収益力強化を基本戦略に掲げ、機能性材料分野の拡大・成長を進めております。今回のシンポジウムは、欧州における先端材料分野での研究機関との協調およびビジネス機会創出につながることを期待して開催したものです。当社にとって、海外でのシンポジウム開催は初めてでありましたが、欧州の大学、企業を中心に、約180名が参加し、盛大にとり行われました。

また、当社は、来年(2005年)3月、「精密合成を目指したグリーン触媒最前線」をテーマとし、第2回目の「三井化学触媒科学国際シンポジウム」を開催する予定であります。これらのシンポジウムが、世界中の研究者の交流の場と、新たな知の創造の場となることを希求しております。

以 上

別紙:シンポジウムの概要

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 古賀義徳 03 - 6253 - 2100

シンポジウムの概要

1. シンポジウム名称:

三井化学シンポジウム at ISIS-ULP

(Mitsui Chemicals Symposium on Advanced Materials at ISIS-ULP)

ISIS: Institut de Science et d'Ingenierie Supramoleculaires (超分子科学工学研究所)

ULP: University Louis Pasteur (レイパスツール大学)

2. テーマ:

新しい機能を発現させる先端材料

(Advanced Materials Enabling New Functions)

3. 開催日:

2004年11月22日(月)

4. 会場:

レイパスツール大学超分子科学工学研究所(フランス・ストラスブール)

5. 講演者・演題:

Jean-Marie Lehn 教授 (仏、レイパスツール大学)

「ダイナマー: ダイナミック分子および超分子ポリマー」

藤田 誠 教授 (東京大学)

「分子構造制御による機能発現: 金属イオンにより制御された大空孔構造体の自己組織化 / 分子フラスコとしての応用」

Gero Decher 教授 (仏、レイパスツール大学)

「機能性表面の設計」

Rolf Muelhaupt 教授 (独、フライブルク大学)

「新しいアプローチを用いた重合触媒及び先端ポリオレフィン材料の設計」

Jun Okuda 教授 (独、アーヘン工科大学)

「構造の制御された有機金属触媒による重合反応」

藤田照典 (三井化学)

「新規オレフィン重合触媒を用いる高付加価値ポリマーの創出」